

研究授業⑤

<単元名> 総合的な学習の時間「黒門小はかせになろう」

<単元の目標>

自分たちが通っている学校のよさや特色について調べたり、調べた情報を発信したりする活動を通して、学校のよさや特色、学校をよりよくしたいと願う人々の思いに気づき、大切にされてきた学校をつないでいくために自分にできることを考えるとともに、自らの生活や行動を生かすことができるようにする。

<学習の様子>

黒門小学校を探検したり、卒業生の黒門小学校への思いを聞いたりして、黒門小学校の良さを知った。本時では、黒門小はかせになるためにどんなことを知る必要があるかをグループごとに付箋に書き出し、分類をした。防空壕や歴代の校長先生、行事など黒門小学校ならではの良さを出し合い、次回調べ学習をするグループ分けをすることを確認した。



<成果と課題>

- 「教材の力」が黒門小はかせになるという魅力的なものだったため、持続的な児童の意欲の高さが見られた。グループでの話し合いも活発に行われていた。また、児童と共に学習計画表を作成したことで、児童自身が見通しをもって学習を進めようとする姿がみられた。
- 学習を児童の思いや願いからスタートさせたことで、児童が学習を自分事としてとらえることが出来ていた。また、教師の声掛けが児童の話し合いを深めたり、考えの手助けの支援になったりと効果的だった。
- 振り返りの視点があいまいになり、活動の内容の振り返りには至らない児童がいた。振り返りの視点を示すなど共通理解を図り、振り返りも学習の見通しの手助けになるようにしたい。